

# 政策提案検討委員会における検討結果報告書

政策提案検討委員会（以下「委員会」という。）は、政策立案及び政策提案に関する事項、議長から諮問を受けた政策検討に関する事項その他委員会において調査検討事案とされた事項について調査検討を行い、議員による政策立案及び政策提案の促進を図ることを目的として設置されたものである。

今期は、令和4年10月25日に第1回の委員会を開催して以降、15回にわたって調査及び検討を重ねてきた。その議論の経過と結果を次のとおり報告する。

## 1 委員会の進め方等

### (1) 前期からの引継事項

前期の委員会からの引継事項は次の3点である。

- ア 子どもの権利に関する提言書提出後の執行部の取組を注視すること
- イ テーマ選定の際、前期に候補として挙げられた案（以下「前期の候補案」という。）についても引き続き候補とすること
- ウ より多くの政策提案を行うことができるよう、終期を見据えたスケジュール設定に意を用いること

### (2) 引継事項の遵守

アについては、教育福祉常任委員会における議案審査を通して子ども・子育て支援事業計画策定の進捗状況などを、本会議における一般質問を通して子どもの権利を守るための市の取組などを確認してきた。

イについては、今期のテーマ選定にあたって、前期の候補案も含めて協議を行った。

ウについては、複数のテーマに関する協議の実施には至らなかったものの、委員会と執行部との意見交換はもとより、現地視察を踏まえ、関係者との意見交換を複数回実施したうえで議論を深め合い、概ね1月ごとに委員会を開催することとした当初のスケジュールに沿って効率的に協議を重ねることができた。

### (3) テーマの選定

個々の議員が会派を通してテーマ案を提出し、前期の候補案も含め、委員会において提案者による趣旨説明を実施した上で、会派ごとに1点から7点の点数付けを行い、その合計点の上位の案から協議を進めることとした。また、テーマ案については、条例の制定又は政策の提言のどちらを目的とするか明示して提案することとした。提出された案及び採点結果は次のとおりである。

順位	案	提案者	合計点
1	再生可能エネルギー発電施設の適正な導入及び管理についての条例制定	菅波議員(志帥会)	28
2	(仮称)いわき若者議会	小菅議員(一誠会)	26
3	いわき市フラ思いやり条例の制定	塩田議員(公明党)	23
4	地域コミュニティ強化に向けた施策立案	大友議員(つつじの会)	17
5	主権者教育条例の制定	小野議員(正論の会)	16
6	明るく元気な挨拶の推進に関する条例の制定	馬上議員(一誠会)	15
6	市議提案政策実現課の新設を！	樫村議員(創世会)	15

## 2 委員会開催経過等

### (1) 開催経過

月日	委員会	主な協議事項等
令和4年		
10月25日	第1回政策提案検討委員会	・正副委員長選出
11月29日～ 12月15日	新たなテーマ案の募集	
12月21日	第2回政策提案検討委員会	・前期委員会からの引継事項の確認 ・委員会の進め方の検討 ・テーマ案の趣旨説明及び質疑応答
令和5年		
2月2日	第3回政策提案検討委員会	・テーマの選定 ・委員会の進め方の検討
3月20日	第4回政策提案検討委員会	・他自治体の条例制定状況の確認 ・執行部(生活環境部)との意見交換
4月12日	第5回政策提案検討委員会	・視察地及び意見交換の相手方の選定
5月15日	第6回政策提案検討委員会	・視察日の調整 ・確認すべき事項のまとめ
6月27日	第7回政策提案検討委員会	・ユーラス田人ウインドファーム及び過去に土砂流出事例のあった内郷高野町の太陽光パネル設置箇所を視察 ・(株)ユーラスエナジーホールディングス及び三和・遠野・田人地区区長会との意見交換

令和5年		
7月28日	第8回政策提案検討委員会	・(株)東北電力及び東北電力ネットワーク(株)との意見交換
8月21日	第9回政策提案検討委員会	・第7回・第8回で実施した意見交換の振り返り
9月26日	第10回政策提案検討委員会	・提言書の内容の協議
10月17日	第11回政策提案検討委員会	
11月20日	第12回政策提案検討委員会	
令和6年		
1月18日	第13回政策提案検討委員会	・提言書の内容の協議
3月12日	第14回政策提案検討委員会	・提言書の確定
3月19日	-	・正副議長への報告
3月26日	-	・各派代表者会議への説明
4月30日	-	・市長への提言書の提出
5月8日	第15回政策提案検討委員会	・検討結果報告書の協議・確定

## (2) 協議事項等の要旨

### ア 執行部（生活環境部）との意見交換（第4回政策提案検討委員会）

再生可能エネルギー発電施設に関する本市の現状と課題等を抽出するため、生活環境部に出席を求め、再生可能エネルギー発電施設の設置状況、電力買い取り制度の動向、不適切事例の発生状況等について意見交換を実施した。

### イ ユーラス田人ウインドファーム及び過去に土砂流出事例のあった内郷高野町の太陽光パネル設置箇所を視察（第7回政策提案検討委員会）

風力発電施設の工事が完成したばかりのユーラス田人ウインドファーム及び平成30年の大雨で斜面の土砂が流出した内郷高野町の太陽光パネル設置箇所を視察した。



#### ウ (株)ユーラスエネルギーホールディングス及び三和・遠野・田人地区区長会との意見交換（第7回政策提案検討委員会）

ユーラス田人ウインドファームの視察後、田人支所において、(株)ユーラスエネルギーホールディングス及び三和・遠野・田人地区区長会との意見交換を実施した。前者に対しては住民説明会、地元への利益還元、撤去費用の積立て等の考え方について確認し、後者に対しては風力発電施設に対する不安要因、市への要望等に関する意見を聴取した。



#### エ (株)東北電力及び東北電力ネットワーク(株)との意見交換（第8回政策提案検討委員会）

(株)東北電力及び(株)東北電力ネットワークとの意見交換を実施した。前者に対しては太陽光パネルのリユース・リサイクルの現状、地元への貢献、発電コストの高騰等について、後者に対しては再生可能エネルギー発電に係る予測精度、送電ロスの対策等について確認した。

#### オ 再生可能エネルギー発電施設の適正な導入及び管理に関する提言書の最終確認（第14回政策提案検討委員会）

意見交換の相手方による記録の確認を踏まえた再生可能エネルギー発電施設の適正な導入及び管理に関する提言書(案)の最終確認を行い、成案とした。

#### カ 正副議長への報告

正副議長に対し、正副委員長より、これまでの協議結果とともに、再生可能エネルギー発電施設の適正な導入及び管理に関する提言書について報告した。

#### キ 市長への提言書の提出

市長に対し、議長より、再生可能エネルギー発電施設の適正な導入及び管理に関する提言書を提出した。

#### ク 検討結果報告書の最終確認（第15回政策提案検討委員会）

検討結果報告書の最終確認を実施し、今期の委員会を閉会した。

### 3 総括

#### (1) 振り返り

今期は、議員個人から会派を通して提案されたテーマ案及び前期の候補案について、各会派で点数を付け、その合計点の上位の案から協議することとし、志帥会菅波議員提案の「再生可能エネルギー発電施設の適正な導入及び管理についての条例制定」が最上位となった。

協議に当たっては、本市の現状を確認するため、生活環境部から、市内の不適切事例の状況や国県の動向等について質疑を行い、全国的に増加している再生可能エネルギー発電施設の適正な導入及び管理についての条例制定に対する見解を確認した。

また、市内に建設された風力発電施設及び過去に土砂流出事例が発生した太陽光発電施設の現地視察により施設規模や稼働状況等を確認したほか、再生可能エネルギー発電施設の運営主体である株式会社ユーラスエナジーホールディングス、株式会社東北電力及び東北電力ネットワーク株式会社並びに再生可能エネルギー発電施設の立地地域の代表として三和・遠野・田人地区区長会との意見交換を実施し、それぞれの立場からの再生可能エネルギー施策に対する考え方を聴取した。

当委員会としては、各区長会との意見交換を通して、地区住民からは再生可能エネルギー発電事業の継続性に対する懸念及び事業終了後の原状復旧への対応に関する不安を感じているとの声が多いことを受け、発電事業者による地区住民に対する十分な説明の確保が重要であり、市としても三者協定等を通じた積極的な介入が必要であると感じたところである。

このことから、地区住民の不安等を払しょくするためには、市内で再生可能エネルギー発電事業を実施する事業者が遵守すべき事項及び遵守を担保するための罰則を規定した条例の制定が必要であるとの結論に達し、執行部に対し、再生可能エネルギー発電施設の適正な導入及び管理に関する提言書を提出した。

同提言書は、こうした経過を踏まえてまとめたものであり、執行部に対しては、その内容を十分に理解され、市の実情を踏まえた実効性のあるルール作りに速やかに着手されることを期待する。

#### (2) 提言との関わりについて

再生可能エネルギー発電施設を巡っては、全国的にトラブルが散見されるが、本市においても土砂流出事例等が発生していることから、速やかなルール作りが必要であり、議会としては執行部の動向を注視してだけでなく、逐次、進捗状況を確認する等の積極的な働きかけが必要であるものとする。